

<第4268回>

目的地：富士見台高原と中山道

担当者：後藤

形式：旅館泊ハイキング

費用：¥32,000

参加者：8名

行程：

7月16日(土) 天気：曇り後雨

新大阪駅(7:30)⇒(8:19)名古屋駅(8:36)⇒(10:10)中津川駅(10:15)⇒(10:40)馬籠宿(10:50)→(12:10)馬籠峠(12:15)→(12:30)一石栃立場茶屋(休憩所)(13:00)→男滝・女滝(13:30)→(14:50)妻籠宿(15:26)⇒(15:35)南木曾駅(16:28)⇒(16:47)中津川駅→(16:55)プラザホテル栄(宿)

7月17日(日) 天気：雨降ったり止んだり後曇り後晴

ホテル(8:00)⇒(8:50)神坂峠→(9:00)萬岳荘(9:30)→(10:00)神坂小屋(10:30)→(10:55)萬岳荘(12:00)⇒クアリゾート湯舟川経由⇒(13:20)中津川駅(14:17)⇒(15:34)名古屋駅(16:03)⇒(16:57)新大阪駅 [解散]

感想：

- ・山旅1日目のスタートは、観光客の多い石畳の馬籠宿(標高620m)から、馬籠峠(標高790m)までの、約1時間の登り。馬籠宿の展望台から見えるはずの、雄大な恵那山は残念ながら雲の中でした。
- ・馬籠峠からは、妻籠宿(標高430m)へ緩やかな下りとなります。途中「一石栃立場茶屋無料休憩所」で、昼食をとり、男滝・女滝、古い旅籠の家並の大妻籠を過ぎ、妻籠宿入り口に着きました。
- ・妻籠宿のバス停車前より大粒の雨となり、傘をさしながら妻籠バス停を目指しました。乗車バス終点の南木曾駅では、夏祭りの御神輿に遭遇し、しばらく見入っていました。その後、JRで中津川駅まで移動し、駅前のホテルに投宿し、18時からホテル近くの居酒屋で、楽しい夕食をとりました。初めての店でしたが、おいしい料理で、嬉しかったです。
- ・2日目はホテルからタクシーで富士見台を目指しましたが、雨が降り出したので、当初予定より上部の、古代の東山道の遺跡のある神坂峠(1569m)まで、入りました。本降りの雨の中、萬岳荘まで歩き、そこで約30分雨やどりをしました。
- ・萬岳荘の管理人の方から、雷発生の予報の教示を受け、富士見台頂上は諦め、ささゆりの花を見に、稜線下の神坂小屋まで、行くことにしました。登山道の左右に、今が盛りのピンクのささゆりの群落がとても美しかったです。
- ・神坂小屋から萬岳荘へ下山し、昼食をとりました。ここの「おでん」は一人鍋で持って来てくれ、食した人は、美味しいと言っていました。
- ・帰りに入浴する予定でいたスーパー温泉は、人が一杯で入浴を諦め、帰阪の時間を早め、帰途につきました。富士見台には季節を変えて、また、春か秋に来たいなーと思いました。

特記

- ・富士見台からは、富士山は見えません。富士見たい!→富士見台になったと、教えてもらいましたが?
- ・新大阪駅及び新幹線でも、昨年に比べて、旅行客がずいぶん増えたように思いました。